

岩本准教授指導の大学院生が Tech Planter 2016 でロート賞を受賞

2016年9月24日に UTM-MJIIT/筑波大学岩本浩二准教授指導の大学院生3名が Leave a Nest（リバネス社、東京）の主催する Tech Planter 2016-Agri Tech Grand Prix でロート賞を受賞した。

Tech Planter は実用的技術研究を対象とした技術シーズ発掘育成プログラムで、通常のビジネスプランコンテストとは異なり、審査を通して提案された技術シーズを磨き上げ、発表の場を通して多くのシーズや企業とのつながりを作ることで、シーズを芽吹かせ、育てることを目的として2014年に開始された。3年目の今年はマレーシア、シンガポール、インド、タイでも開催され、そこで優秀な成績を収めたチームが日本で行われるグランプリに招待された。

岩本准教授は指導する大学院生3名（Nurul Ashyikin Yahya、Noraiza Suhaimi、Marshila Kaha、いずれも MJIIT 環境グリーン技術工学研究科2年）と「Team Algal Biomass」を編成し、ヤシ油産業から生じる廃水を利用した藻類バイオマスで化粧品を作るという内容でマレーシア大会に参加し、マレーシア代表として選抜された。グランプリでは日本人10チーム、シンガポール1チーム、マレーシア1チームの12チームが参加した。Team Algal Biomass は最優秀賞は逃したものの、ロート賞を受賞し、賞金20万円を獲得した。

チームの大学院生3名は、2015年と2016年に短期留学で筑波大学を訪れており、生命環境系白岩善博教授、鈴木石根教授および石田健一郎教授の研究室で藻類に関する基本技術を学んでいる。そのため今回の受賞は本学と MJIIT の連携による成果の一つと言える。



表彰式後にて。左から岩本准教授（文責）、Marshila さん、Nurul Ashyikin さん、



ルビア院長（左から3番目）への報告。